

(1) 来場者アンケート - 実証実験について

■実施概要

目的：伏見町内における公共空間活用実証実験に対する来場者等の評価や満足度を把握し、今後の伏見町におけるまちづくりの指針とする。

- ・機能や空間等に関するニーズの把握
- ・イベントによる集客を通じた伏見町のポテンシャル確認
- ・市民に対する伏見町の認知度向上

実施期間：平成 30 年 11 月 2 日（金）～4 日（日）

調査対象：伏見町内における公共空間活用実証実験の来場者、来街者

調査方法：アンケート調査票をもとに、調査員によるヒアリングの実施、卓上アンケートの設置

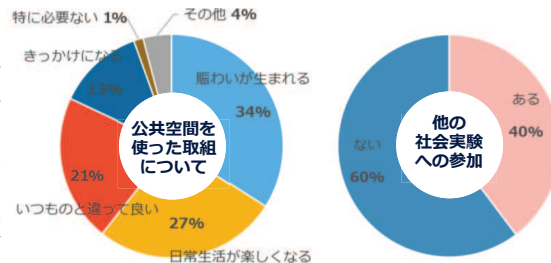
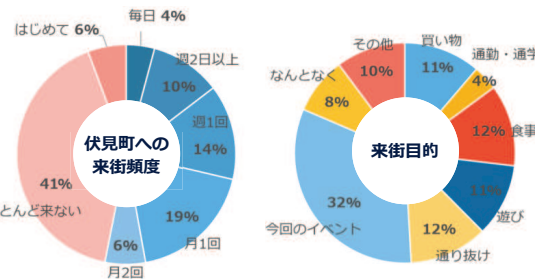
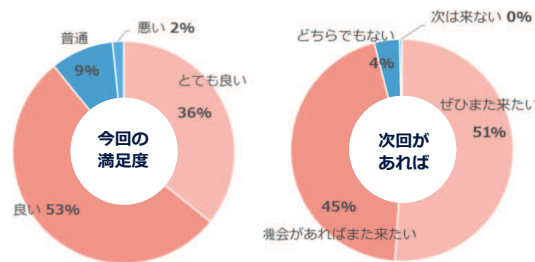
回収結果：343 件

■結果概要

・実証実験の当日は天候に恵まれたほか、周辺イベント等の実施とかさなったこともあり、多くの方が来場するなか、**アンケート調査では高い満足度が得られる結果（9割以上が肯定的）**となった。

・注目されるのは、伏見町への来街頻度で、**普段は伏見町にほとんど来ない人の来場が半数近くを占める**など、**実証実験による集客の効果が顕著に現れている**。また、自由回答では、**定期的な開催を希望するほか、他のエリアとの連携を期待する意見**が多くみられた。

・こうした評価の背景には、**パブリックスペースを使った取組みについて、ほとんどの来街者が肯定的な回答**を示したほか、オープンストリート福山など他の社会実験に参加したとのある人が 4 割となっており、**公共空間の利活用やまちの変化を期待する来場者の多いこと**がその背景になっていると考えられる。



(2) 来場者アンケート - 伏見町で見たい未来の光景について

■実施概要

卓上にて写真 13 枚を使った投票制のアンケートを実施。約 100 名の参加（296 票の投票）があった。

■結果概要

(得票上位)



(3) 出店者ヒアリング

■実施概要

・対象：出店者 11 店舗

・ヒアリング内容

- |            |          |                    |        |
|------------|----------|--------------------|--------|
| ①店舗の特徴     | ②売上・来客数  | ③来客層・利用者層          | ④困ったこと |
| ⑤お客さんからの反応 | ⑥イベントの感想 | ⑦今後の継続的な取組みへの希望や期待 |        |

■結果概要（主な意見）

②売上・来客数

初回であることや、地域を盛り上げるためとの理解があり、そもそもの売上は期待していないと回答する出店者が多かった（実際には想定以上に売り上げた出店者もいた）。

③来客層・利用者層

全体としての大きな特性はなく、様々な人が往来する場所という印象だが、時間帯によっては特徴があると感じられている。（夕方・夜の時間帯は仕事帰りの男性が多い、など）

④困ったこと

出店者への情報提供が遅かったことや、事前告知などの情報発信に関する意見や、店舗近くへの座席の設置を希望する声があった。

⑤お客さんからの反応

何のイベントなのか聞かれることもあったが、全体として美味しいなど満足される声があった。

⑥今回のイベントの感想（伏見町の雰囲気が変わったと感じたか）

「続けると変わる」との声が多く、続けていくことが大切と考える出店者が多かった。

⑦今後の継続的な取組みへの希望や期待

伏見町の店舗との連携・協力、出店者同士の連携などによりエリア全体で行い、一体感のあるイベントとして継続に期待する声が多い。また、認知度向上のためにも、事前告知や情報発信に工夫が必要との声もあった。